

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 1日

事業所名:さんさんカラース

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数や活動の場面に合わせて、スペースの有効活用を行っている	運営に定められた基準値の広さを確保している。引き続き利用人数に応じたスペースの有効活用により、より良い支援を行えるようにする
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の配置をしている	適宜運営法人全体での人員配置を行うことで不足とならないようにしている。今後も引き続き適切配置を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段の昇降時には職員が子どもの特性を踏まえた支援をしている	事業所が賃貸物件のため改修はできないが、今後も階段や段差にはマットや手すりを設置するなどの配慮により事故防止に努める。必要に応じて設置済みのエレベーターを使用する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		普段から職員間での話し合い等を徹底している	月1回以上全員参加の会議を行っている。その他にも必要があれば臨時会議を開くなども視野に入れ、今以上の業務改善を図っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施する等して、保護者様の意向を把握し業務改善につなげている	今後も保護者様等の意向の把握に努め、迅速・適格な業務改善につなげていく。おたよりやSNSによる業務改善内容の周知を図る
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している	今年度ホームページをリニューアルした。ただ周知されていない面もあるので、今後はおたよりなどで公表に努める。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	同一法人内で人材交流を取り入れる等して、業務改善に努めている	現在外部評価は行っていないが、今年度他事業所との交流を行った。今後そういった交流から外部評価などに繋げていけるように努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に参加したり、研修に代わる資料の配布や情報の提供に努めている	積極的に地域で行われている研修に参加するようにしていくとともに、各職員が障がいに対する理解を深める事ができるよう情報提供を行い職員の資質の向上を図る
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的にあセスメントを行い個別支援計画に反映させている	引き続き適切なアセスメントを行い、課題等の客観的な分析に基づいた計画作成を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		フェイスシートを利用し子どもの特性や家族構成等の状況を詳細に把握するようにしている	今後も子どもと家庭の状況を把握した上で職員に周知徹底し支援にあたる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的なミーティングの際に職員の提案により行っている	引き続きより多くのプログラムを提供し活動の幅を広げていくためチームによる立案を行う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもたちの意見も取り入れている	季節に合わせたイベントの開催や、子どもと保護者等の希望も取り入れた新たな活動プログラムの検討・実施を継続して行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間を考慮して活動内容や課題を設定している	今後も状況に応じた課題を設定し支援する。休日や長期休暇には遠足等の平日には行えない活動を通してきめ細やかな課題設定を行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別と集団の活動を組み合わせて計画の作成を行っている	子どもの状況に応じた計画作成を行うとともに、個別支援計画書の閲覧により適切な支援を継続的に行えるようにする
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		外出時は特に支援内容や役割分担の確認等の打合せを行っている	より適切な支援の提供を行えるよう支援内容や役割分担についてしっかりと打合せを行い、その内容を全職員に周知徹底する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		共有ノートやSNSの活用により全職員への情報共有を心がけている	全職員が振り返りや気付いた点を共有し、より良い支援の提供につながるよう共有方法の見直し等の改善策を検討する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳の複写や送迎記録等の保管・見直しを行いより良い支援を行えるようにしている	職員の経験値等に応じて、記録の見直しによる支援の検証・改善の重要性を伝えスキルアップを図っていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月ごとにモニタリングを実施し判断している	面談等により保護者との連携をさらに深め、より良い支援を行えるよう計画に反映していく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに沿った支援を行っている	新しい職員にはガイドラインの保管場所を周知読んでもらうとともに、内容の理解を深められるような環境作りにも努める	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	原則児童発達支援管理責任者が出席し情報交換を行っている	会議に出席した職員は収集・発信した情報を整理し、職員に周知徹底する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	主に保護者と連絡を取り確認している。駐車場や時間の連絡調整をした上で各学校のルールに従い送迎を行っている	今後も継続して行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在は保護者様等との連絡・連携に留めている	今後必要に応じて連絡体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	保護者様や相談支援員と情報共有を行い、本人理解に努めている	必要に応じて保育所等に直接の情報共有を積極的に働きかけ、相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在に至るまで該当する利用者はいない。担当相談員を通して支援内容等の情報の提供要請に応じている	今後利用者が卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行する場合に備えて体制を整えていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修には参加できていないが、必要な際に連携する事がある	今後はコロナの状況等を鑑み、研修に参加したり助言を受けるなどして専門機関との連携を深めることで、支援の質の更なる向上につなげていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	事業所内のイベントで兄弟児との関わり場を設けた。	コロナで児童館は団体、事業所の受け入れが不可となり活動の制限がある。今後もその代わりになるようなイベントを考案したり、事業所内で兄弟児との交流や他事業所との交流など積極的に行っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	事業所における直接支援に重点を置いた人員配置を行っている	今後は運営法人全体での人員配置の工夫をするなどして積極的に参加を検討する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時や連絡帳などで支援内容を具体的に伝えるなどして共通理解に努めている	引き続き継続して行う
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	必要に応じて電話や面談などで相談ののっている	引き続き適宜相談にのるなど保護者との連携を深める。職員研修等の学びの場を設けて保護者支援の質と量の拡充を図る
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時の他、変更時等適宜行っている	今後も継続して丁寧な説明を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	状況に応じて送迎時や電話などで行っている	今後も継続して行い、必要に応じて面談等の機会提供を検討・実施していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	イベント時に保護者交流会を行った。	今後イベント時だけではなく、午前中に保護者のみのお茶会を開催するなど、更なる連携の支援ができるように努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	契約時に苦情窓口の設置を伝えている。苦情等があった場合には迅速・適切に対応するため、職員からの正確な情報収集に努めている	今後も体制整備の周知とともに、迅速かつ適切な対応に努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	SNSの活用及び子どもたちの活動の様子を伝えるため毎月ベストショット便りを届けている	今後も継続して、子どもや保護者等に分かりやすく情報の発信を行っていく
	35	個人情報に十分注意している	○	個人ファイルは鍵付き書庫で厳重に保管している	今後も継続して十分注意して取り扱う
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	子どもからのサインを見逃さないようにし保護者との連携も大切にしている	今後も常に子どもや保護者に寄り添い細やかな配慮を心がけていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域の自治会に入っている	事業所に隣接する公園等で近隣住民にお会いした際にはしっかりと挨拶をするなどして、今後も良好な関係を継続できるようにする

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	職員には避難場所を周知し研修を行っている	各種マニュアルについて、職員や保護者様に分かりやすく説明し周知を行う。その際新しい職員や新規の利用保護者のみならず全員への周知徹底を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	171伝言ダイヤルの試験運用を保護者と職員で行った。利用児とは非常災害を想定した避難訓練を行っている	今後も継続して定期的な避難訓練を行う等、災害の発生に備える
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	事業所内で虐待防止の研修を定期的に行っている。	今後も定期的な研修をするとともに、何かあれば適切に対応できるようにする
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	現在該当する利用者はいない	今後該当する利用者がある場合には、本人と保護者様への組織的な決定に基づいた十分な事前説明を行い了解を得て計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者様からの情報により対応している	重度のアレルギー等必要に応じて、保護者からの情報に加えて主治医からの情報提供を受けるようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットの作成と共有を行っている	今後も継続して事業所内の見やすいところに置き共有する事により安全な事業所運営につなげていく